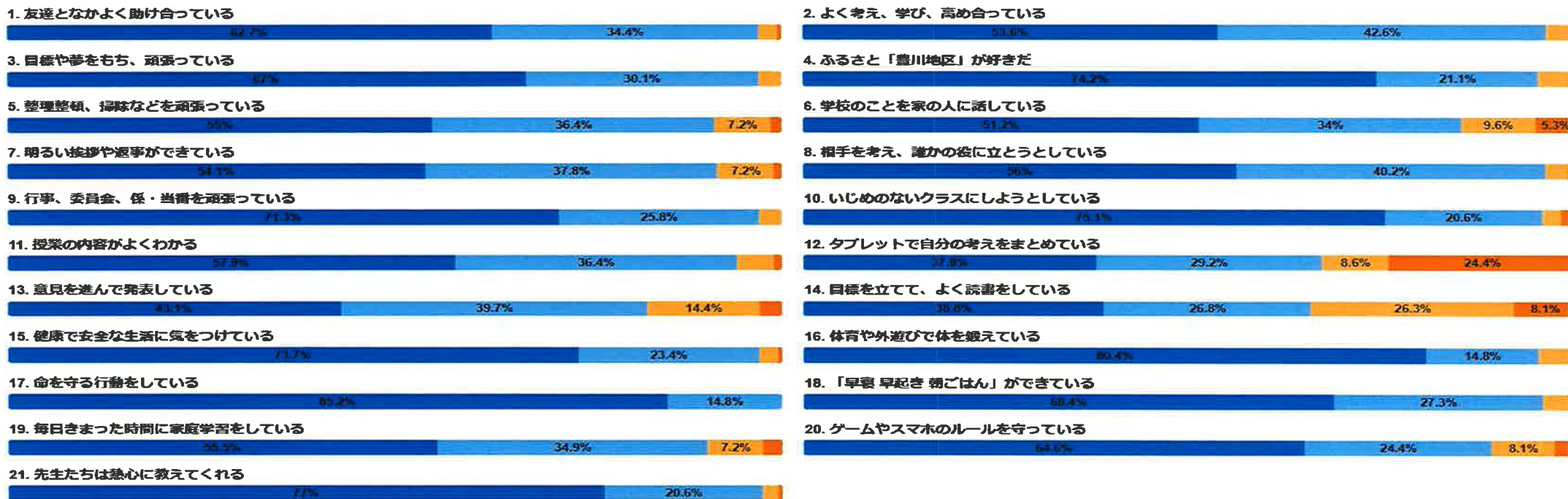


(2) 児童アンケートの結果と分析(令和7年度学校評価アンケート2月実施から)

■ よくあてはまる ■ だいたいあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない



【成果】(%は肯定率)

○21項目中16項目が90%以上、19項目が80%以上と質問項目の多くが肯定的意見が高く全体的に高評価であった。

○地域の教育力を生かした教育活動を通した郷土を愛する心の育成については、95%と高評価であり、思わない児童が0人であった。学校行事や教科や特別活動、総合的な学習の時間等様々な教育活動を積極的に地域とつなげて行った結果だと考えられる。

○ゲームやスマホの使用ルールと見届けについては、89%であり、昨年度より5%上昇している。教育講演会や親の学び等の啓発を行った成果であると考えられる。

【課題】

●読書活動については、65%と他の項目に比べて低い数値となっている。図書委員会や図書司書補と連携し、魅力ある 図書室経営 に努めるとともに、各学級での読書活動を進めていく必要がある。

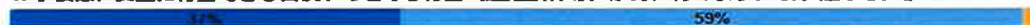
●タブレットで自分の考えをまとめることについては、66%であった。今後も校内研修等で教職員のタブレット活用に関する知識や 技能を高めることで、児童が授業や家庭学習で思考、表現する場での活用を進めていく必要がある。

3 保護者児童の意識

(1) 保護者アンケートの結果と分析(令和7年度学校評価アンケート2月実施から)

■ よくあてはまる ■ だいたいあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない

1. 学校は、安全に行動できる習慣や命を守る行動（避難訓練等）が身に付くように取り組んでいる。



3. 学校は、美しい教育環境づくりに努めている。（清掃活動、整理整頓、花一杯運動等）



5. 子供は、よく考え、お互いに高め合いながら学んでいる。



7. 学校は、学習者である子供の視点に立って分かりやすい授業づくりを工夫している。



9. 子供は、体育や遊び等の活動を通じて、運動に親しんでいる。



11. 子供は、行事や委員会活動、学級の係の仕事に進んで取り組んでいる。



13. 子供は、相手のことを考えて、誰かの役に立とうと行動している。



15. 子供は、目標や夢を持ち、それに向かって努力している。



17. 子供は、「聴く、考える、書く、話す」等の基本的な学習の仕方が身に付いている。



19. 家庭では、ゲームやスマホの使用についてのルールを決めて、見届けをしている。



21. 子供は、よく本を読み、読書の習慣が身に付いている。



2. 学校は、地域の教育力を生かした体験活動を通して、地域を愛する心の育成に努めている。



4. 家庭は、「早起、早起き、朝ご飯」の習慣が身に付くよう努めている。



6. 子供は、仲良く助け合って学校生活を送っている。



8. 学校は、タブレット等ICT機器を活用した授業づくりを行っている。



10. 学校は、働き方改革推進プランをもとに、業務改革等に取り組む、職員はいきいきと働いている。



12. 子供は、健康で安全な生活のために必要な知識や習慣が身に付いている。



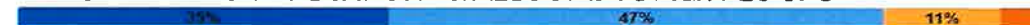
14. 学校は、差別やいじめのない学校づくりに取り組んでいる。



16. 子供は、明るい挨拶と返事ができている。



18. 家庭では、子供が毎日決めた時間に学習に取り組むよう声かけし、見届けをしている。



20. 子供は、家庭で学校の授業や行事等の様子について話をする。



【成果】(%は肯定率)

○21項目中12項目が90%以上であり、20項目が80%以上であった。全体的に高評価であった。

○地域の教育力を生かした教育活動を通じた郷土を愛する心の育成については、97%と高評価であった。学校 HPや学年通信等を通じて地域とつなげる教育活動を紹介していくことで啓発ができていと考えられる。

【課題】

●読書活動については、50%以下であった。今後も長期休業中を活用した家庭と連携した取組や読み聞かせ等を継続して進めていく 必要がある。

●家庭で学校のことを話すことについては82%であった。児童(85%)よりやや低い数値であった。今後も学校生活について家庭で話 題になるように、学校生活について積極的に情報提供していきたい。

●ゲームやスマホの使用ルールと見届けについては、84%であり、昨年度より3%高い数値であった。引き続き学年通信等で 啓発していく必要がある。